

平成28年第1回(1月)袖ヶ浦市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 平成28年1月27日(火) 午前10時10分開会
午前11時20分閉会

- 2 開催場所 市役所 2階第(一)会議室

- 3 出席者

委員長	多田 正行	委員長職務代理者	山口 修
委員	福島 友子	委員	中村 伸子
教育長	川島 悟		

(欠席委員)

なし

- 4 出席職員

教育部長	鈴木 和博	教育部次長 (兼教育総務課長)	森田 泰弘
教育部参事 (兼生涯学習課長)	原田 光雄	学校教育課長 (兼総合教育センター所長)	小川 幸男
体育振興課長	林 健司	市民会館館長	井口 崇
平川公民館副館長	勝畑 克子	長浦公民館副館長	中畑 浩治
根形公民館副館長	宮崎 光男	平岡公民館副館長	大津 忠志
中央図書館館長	簗島 正広	学校教育課副参事	井関 徹太郎
教育総務課副参事	溝口 輝	教育総務課副参事	中山 久江
教育総務課主任主事	山田 倫志		

- 5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	1人

6 議 題

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 今回会議録署名人の選出について

日程第3 教育長・教育部長報告

日程第4 議案

議案第1号 平成27年度袖ヶ浦市生涯学習特別奨励賞及び生涯学習奨励賞受賞者の決定について

日程第5 その他報告

(1) 第31回生涯学習推進大会社会教育功労感謝状贈呈者について

(2) 奈良輪会館移管について

(3) 長浦運動広場用道路における車両事故について

(4) 平成28年袖ヶ浦市成人式実施結果について

(5) 袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しの検討について

(6) 幼保連携について

7 議 事

日程第1 前回会議録の承認について

委員長 前回定例会会議録の承認について賛成の挙手を求める。

委員長 全員一致で承認されました。

日程第2 今回会議録署名人の選出について

委員長 福島委員を指名した。

日程第3 教育長・教育部長報告

委員長 教育長、教育部長に報告を求める。

教育長 君津郡市広域市町村圏事務組合総合教育会議(12月24日)、死亡叙勲伝達(12月24日)、第25回袖ヶ浦市元旦マラソン大会(1月1日)、市教育委員会による教職員人事面接(1月6、7日)、新春賀詞交歓会(1月8日)、平成28年成人式(1月10日)、第4回文化財審議会(1月12日)、市立小中学校教務主任会議(1月15日)、袖ヶ浦市賀詞交歓会(1月15日)、君津地方教育関係者による賀詞交歓会(1月16日)、消防出初式(1月17日)、南房総教育事務所による教職員人事1次面接(1月18日)に出席した。

教育部長 袖ヶ浦市ジュニアオーケストラクリスマスコンサート(12月20日)に出席した。

日程第4 議案

日程第5 その他報告

(4)平成28年袖ヶ浦市成人式実施結果について

委員長 事務局に説明を求める。

市民会館館長 生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つという目標を掲げ、平成28年袖ヶ浦市成人式を市民会館、長浦公民館、根形公民館、平岡公民館で実施した。対象者627名のうち出席は485名で出席率は77.4%であった。

記念行事は、新成人を中心とする実行委員会が主体となり実施し、各館で工夫が施された内容であった。

なお、記念品は昨年と同様10冊の図書の中から1冊を選んでもらった。記念品について、アンケート調査を行った結果、「記念品としてふさわしいと思う」54.8%、「記念品としてふさわしいと思わない」15.1%、「その他」3.3%、「無回答」26.8%であった。「その他」で挙げられた主な意見として、「図書カードが良い」や「袖ヶ浦市の特産品が良い」、「本ではなくて集合写真を無料で配布してほしい」、「本は人によって好みがわかれると思うため、記念品にするのは難しいと感じる」などの意見の他、記念品は不要との意見もあった。

委員長 出席した各地区成人式の感想を各委員から伺いたい。

山口委員長

職務代理者 平川地区の成人式に出席した。記念行事は「感謝」というテーマに行われたことが手法として良かった。また、新成人の挨拶では、両親や地域の方々、先生方に対する感謝の言葉が印象的であった。

福島委員

午前中に長浦地区、午後に蔵波地区の成人式に出席した。長浦地区は中学校時代から大人しい学年であったようで厳粛に行われていた。蔵波地区は、報告にあるとおり多少賑やかな場面もあった。新成人の挨拶は、それぞれ自分の思いを自分らしく伝えていた。また小学校の恩師が新成

人に対し電報を打ってくださり、その気遣いがとても嬉しく感じた。

中村委員 根形地区の成人式に出席した。新成人の挨拶が今年も素晴らしかった。社会人として今後どうなりたいか、また郷土への愛、感謝など堂々と語られ、私自身の心がとても豊かになるような挨拶であった。

委員長 昭和地区の成人式に出席した。年々、成人式に臨む新成人の態度が良くなっているように感じた。袖ヶ浦市の未来の安心して任せることができると感じるような厳粛な式典であった。

(5) 袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しの検討について

委員長 事務局に説明を求める。

中央図書館長 袖ヶ浦市立図書館運営体制の見直しの検討について、見直しの背景や具体的な取組み、今後のスケジュール、先進地視察研修報告、君津地方社会教育研究会第2回図書館研究部会報告を検討する際の資料として配布するものである。

山口委員長

職務代理者 本日の朝日新聞の朝刊に図書館の原点、指定管理者について記事が掲載されているため目を通していただきたい。

なお、公立図書館の指定管理については、個人的には向いていないと考えている。

中村委員 指定管理にしたが、直営に戻した例や指定管理にして評判が良い例など様々な事例を引き続き研究していただきたい。

(6) 幼保連携について

委員長 事務局に説明を求める。

教育部次長 幼児教育、保育環境が様々に変化する中、保護者ニーズに対応しつつ、これからも充実した子育て環境を提供することが喫緊の課題であるとして、幼児教育と保育の両面から幼保連携について、様々な角度から検討を進めてきたところである。

公立幼稚園に対し保護者を対象にしたアンケートでは、8割を超える保護者が満足しているという高評価であった。

また、自由意見でも公立幼稚園に対する安心感と一定の評価があり、継続を望む保護者の声が多くあった。

検討委員会では、昭和地区に今井幼稚園を廃止して新たな民設民営の認定こども園を開設し、中川富岡地区に吉野田保育所を改修し公設公営の認定こども園を開設することと示されている。しかし、民設民営の認定こども園については、教育方針が民間に委ねられることから保護者の不安を招く恐れがあること、また現場サイドの意見も聞きながら慎重に検討を加え、考え方を整理する必要があると考える。

また、幼稚園教育要領と保育所保育指針等は本質は同じであると定められているが、現状の幼稚園と保育園では、統一されたものは無く、カリキュラムの作成から職員交流等の体制づくり等の入念な準備を進めなければ幼児教育の基本方針の実現は難しいと考えられる。

幼保連携については、子ども子育て支援会議、幼保連携推進検討委員会において、認定こども園化を検討してきたところだが、現状の入所待ち児童数等を考慮すると方向性を結論付ける時期となっている。幼保連携推進検討委員会では、公立幼稚園は全て認定こども園化と示されているが、教育委員会事務局案としては、今井幼稚園を休園し、中川幼稚園に統合する案を考えている。これにより、これまで培ってきた袖ヶ浦市の幼児教育を維持していきたいと考えているものである。

委員長 委員に質疑を求める。

山口委員長

職務代理者

まず、この検討は、1つ目として、いつまでに決定しなければならないのか時間軸を示していただきたい。2つ目は、本市の幼児教育において、私学の民設民営の認定こども園で良いのか。待機児童対策のみの施策となっていないか。3つ目は、今井幼稚園を本当に建替えることは難しいのか。4つ目は、認定こども園のカリキュラムについて検討いただきたい。5つ目は、保護者アンケートで44%もの保護者が近いから預けていると回答している。中川幼稚園に統合した場合、通園時間が増えるため、見込んだ人数を確保できるか。次回の教育委員会議で示していただきたい。

教育部次長　中川幼稚園に今井幼稚園を統合して、公設公営の幼稚園を存続する案について、考え方の基本を今回説明させていただいたものですが、ご質問の件については、次回定例会にて、詳しくご説明させていただきます。

次の案件につきましては、袖ヶ浦市教育委員会会議規則第13条1項第3号並びに第4号に該当するため、非公開となります。

- ・日程第4　議案第1号
- ・日程第5　報告(1)(2)(3)